

議案第 2号 平成24年度井原市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

賛成の討論

18番 高田正弘 議員

「先ほどご説明がありましたとおり、安倍政権になりまして大きな大型補正を組んでいただきました。その結果、こういった前倒しで事業が進められるということは大変ありがたいと思っております。安倍政権には是非とも頑張っていたきたいと思っております。そういった意味で賛成いたします。」

議案第 3号 平成25年度井原市一般会計予算及び議案第4号 平成25年度井原市国民健康保険事業特別会計予算から議案第17号 平成25年度井原市宇戸財産区会計予算までの各会計予算

賛成の討論

16番 鳥越孝太郎 君

「議案第3号、平成25年度井原市一般会計予算及び議案第4号から議案第17号までの各会計予算について、賛成の立場で討論いたします。平成25年度の予算案につきましては、市制施行60周年を迎え、厳しい財政環境の中にあっても地域経済、産業、商業の後押し、教育環境の充実、市民福祉の向上に重点を置かれた積極的な予算編成で評価するものです。中でも、経済・雇用対策として井原駅前通り賑わい創出事業、新規学卒者雇用奨励金など8事業の新しい施策を予算化され地域経済の活性化につながるものと期待いたします。教育環境については、小中学校において放課後学習、土曜学習サポート事業など確かな学力の育成に向けて予算化されておられます。また、必須科目となりました武道につきましては、美星中学校格技場の建設となっておりましたが、私の指摘後、教育長の即断により武道場に変更され、改めて建設予算となりました。名称変更は小さいことですが、格技と武道では意味合いも違い、意識もまったく違います。今後市内4中学校すべてで統一していただきますよう指摘しておきます。さらに教育関係では、長年の懸案でありました市立高校建設に向けた予算が組まれておられます。1日でも早い建設が望まれます。また、郷土の伝統ある興譲館高校に対しても周年補助として3,200万円の予算が計上されております。大いに評価いたしますが、一時的なものではなく、今後も継続した支援で地元高校を守っていく責任があると思っております。そのほか市内循環バスを初めとする公共交通

の拡充、地区公民館の整備、市民病院の医療体制充実などいずれも積極的な予算となっております。一方、歳入面では依然として厳しい状況であります。市民の皆さまからお預かりした税金を1円たりとも無駄にすることなく、効率よく効果的な事業に配分され、夢と希望の持てる井原市政の推進を図っていただきたい。以上で私の賛成討論といたします。最後に20年間ありがとうございました。」

議案第 3号 平成25年度井原市一般会計予算

賛成の討論

7番 三輪 順治 君

「議案第3号、平成25年度井原市一般会計予算について賛成の立場から討論をいたします。本予算は市制施行60周年を迎える井原市の新たなスタートとしての予算であり、特に本市独自の経済・雇用対策による地域経済活性化策のほか、教育の再生に力点を置いた諸施策の展開など、厳しい行財政環境のもと歳入・歳出それぞれ196億5,600万円の規模で編成されております。このうち、総務費においては公共交通体系の維持のための予算を初め、地域の安全・安心のまちづくりを行うための諸事業を計画され、また民生・衛生費におきましては少子・超高齢化への対応や地域福祉の推進、障害者対策、健康づくりのためのビジョンづくり、再生可能エネルギーの展望等に配慮されたものとなっております。また農林水産業費・土木費などについても必要な市民生活の確保や防災上の観点などから、これらに対応する予算が組み込まれておりまして、予算編成に務められました市理事者並びに職員の皆さま方に敬意と感謝を申し上げます。このうえは各事業とも適正な執行をお願いし、井原市第6次総合計画後期基本計画の初年度にふさわしい出発をお祈りしたいと思っております。ただ、この際、次に申し上げる2点につきましてご要望をいたします。総務費のうち、井原市パートナーシップ推進員に係る報償費については、先の一般質問でも述べたとおり市長が協働のまちづくりを進めるうえで必要な任務を委嘱した職員に対し、月額5千円、年間6万円、総額156万円を支給するものであるとの説明ですが、これら協働のまちづくりに関する任務はボランティアとしての位置付けでなく、当然に公務、職務でありますのでしかるべき方法で執行していただきたいことを要望いたします。また教育費のうち、市立高等学校施設の整備についてご要望申し上げます。市立高校の整備・移転は、1日でも早いことを望むものでありますが、議会に対し何ら説明もない中、市内の工場跡地を最適地とされ、今年度の用地取得など1億2,500万円の予算

を計上されております。岡山県が運営に当たるといふ、いわば県立移管への協議が整わない段階で校舎建設費を含め総額6億円にも及ぶ一般財源の投資を行うこととなりますが、今後改めて岡山県教育委員会の方と積極的な協議、調整を行っていただき、6億円の一般財源の持ち出しを少しでも軽減すべく鋭意折衝を行っていただきたいことを要望いたします。以上2点要望いたしまして議案第3号、平成25年度井原市一般会計予算について賛成の立場からの討論といたします。」

14番 森下金三君

「議案第3号、平成25年度井原市一般会計予算を賛成の立場で討論をいたしますが、この予算には学校建設費、1億2,500万円の予算、これは市立高校の建て替えの用地買収の予算が含まれています。一般質問のやり取り、また予算決算の質疑の中で私なりに疑問を感じました。まず1点は、なぜ県立移管の方向の努力をしなかったのか、市長みずから県に対してどれだけ協議をしたのかその形跡が私にはまったく見られない。県立移管になれば、これからの投資額6億円と年間維持費約3,600万円ほどの経費が浮くことになり、単純に考えればこの金額を他の事業に活用することもできるわけであり、2点目は昨年の9月の総務文教委員会において、この土地については考えていないとのことであったが、その後、16箇所から20箇所に候補地が増えた。その中にこの土地も含まれているとのことであった。この件については所管である教育委員会も本年1月末まで、教育委員会もこの土地については市側からの相談もなかったことであり、この予算については教育費に含まれているのに教育委員会の予算要求ではなく市長の査定であるとのこと。3点目はこの土地の金額は市の買入れ基準で購入するとの、この金額になるとのことであるが、多額のお金が動くので公金の支出を少しでも少なくする努力をすべきであります。そのためには民間の不動産鑑定士にも鑑定させて比較検討してその結果で市民から見て適正な価格であると判断されることが望ましいと考えます。以上3点を申し上げましたが、この用地購入費については、あくまでも予算ですので相手方との交渉により少しでも公金の支出を抑える努力をするよう要望いたしまして賛成の討論といたします。以上であります。」

陳情第 1号 年金2.5%の削減中止を求める陳情

賛成の討論

20番 森本典夫君

「私は陳情第1号の年金2.5%の削減中止を求める陳情について討論したいと思います。陳情書の陳情趣旨の下から8行目にこういうふうに書かれております。年金削減は、高齢者だけの問題ではありません。高齢者の大幅収入減は、地域の経済に大きな影響を与え、自治体の税収減にも直結することは言うまでもありません。深刻な不況が続く日本経済への打撃も看過できません。本来、物価スライドは、物価高騰に対して年金の目減りを回避するためのものです。年金削減の手段とするのは本末転倒です。という陳情趣旨の一文があります。私はまったくこのとおりだというふうに思いましてこの陳情は採択すべきだと思います。以上。」